● 〒020-0024 盛岡市菜園 1-11-15

日本教育会岩手県支部 TEL 019-623-8100

● 代表 八重樫 勝



ゆとりと夢のある保育を目指 岩手県国公立幼稚園・こども園協議会

して

は年長

(菊組)

のMさんが偶然に

せに来てくれました。また、

先月

も見えるカマキリの赤ちゃんを見

も砂場の中から蝉の幼虫を見つ

「園長先生。

蝉の幼虫をお部

屋で飼っていいですか」と尋ねて

開催となりました。 ラインや紙面発表での開催となっ 禍で対面での開催ができずにオン こども園長会総会・研究大会に参 された第74回全国国公立幼稚園 ていたので、 会はもとより、この3年間コロナ 加してきました。昨年度の奈良大 6 月 16日・ 4年ぶりに対面での 17 月 山 口市で開

どもまんなか社会」 うとしているということです。 からも伺えます。 庁」が創設され、国の目指す「こ 育成」を最重要課題として位置づ 激な少子高齢化の中、 た様々な取組がスタートしたこと それは、今年4月「こども家庭 大会に参加して感じたのは、 就学前教育に本気で取り組も の実現に向け 国は 「人材 急

出 北新幹線の車中で、大好きな釜石 身の作家 山口に向けて乗車した東 柚月裕子さんのエッ

> ヴェール6月号)。 のような記述を見つけました。 ンを抱け」というタイトルで、 1 に出 会い ました それは、 <u>`</u> 口

セ

(一関市立摺沢幼稚園

園長) 宏

える。 れる。 だと思うことがあるけれど、ほん す。」とありました。 は希望という名のロマンが必要で 生まれない。希望を持つことで今 い換えるなら、 H のわずかでも希望があれば立ち直 「生きていると辛くてもうだめ 一日がんばってみようかなと思 だから、 希望は想像することでしか 生きていくために 人生には・・・言

ました。 園の園児の事が不意に頭をよぎり 希望とロマンという言葉で、 本

中の卵から羽化した何百、 ちゃんだよ。」と言って、 長先生見て。 年中 子どもたちにとっては無数に (桜組 これカマキリの のH君が、 先週 虫籠 何 園 赤

ラン 次 マ

きました。

常の遊び さに「主体的・対話的で深い学び」 があります。 したりしながらお世話している日 の幼虫を見つけ、 何千匹もの赤ちゃんカマキリを見 キラキラした目で虫籠の中の何百 つめたり、 カマキリの (保育) 砂遊びの最中に偶然蝉 羽化に心動かされ、 羽化を心待ちに の中にこそ、 ま

う教育」「遊びを通しての総合的 と思います。 とりと夢のある保育を心掛けたい 就学前教育の原点に立ち返り、 な指導」を基本としています。 度、 幼児教育は、 「遊び」= 環境を通して行 「学び」という Ø

羽化した蝉が真夏の太陽の中に飛 立ってほしいと願っています。 -生活の中で蓄えた夢を乗せて、 もうすぐ梅雨明け、 **7**年間

中

令和5年度支部定期総会 今年度事業計画 • 予算案等承認

記念講演は 近藤義男 氏

部役員の5名が出席して、盛岡市 迎えし、理事、監事、代議員、 3千4百名を超える全国有数の支 年度で41年目を迎え、 県支部が昭和57年に結成され、今 のサンセール盛岡で開催されました。 市町村教育委員会協議会長をお て盛岡市立下橋中学校と一戸町 昨年度の教育実践顕彰事業にお になりました。日本教育会主催 1時から、岩手県教育長、岩手 定期総会は、6月3日 開会行事で、支部長から「岩手 和5年度日本教育会岩手県支 会員数が (土) 午 支

支部定期総会の様子

業をさらに創意工夫しながら進め 準を表しています。岩手県支部は 受賞したことは岩手の高い教育水 挨拶がありました。 を宜しくお願い申し上げます」と 会員の皆様や学校現場に役立つ事 て参ります。皆様のご指導ご支援 昨年度は連続4回目の会長賞を 小鳥谷小学校が奨励賞を、また、

とのご祝辞をいただきました。 り、一人一台端末で授業改革を進 教育委員会としては授業改善を図 行っていることに感謝します。県 展と皆様のご健勝を期待します。」 教員研修体系の見直し等を行って 延ばす教育を推進するとともに、 教育充実のために様々な活動を ら「日本教育会岩手県支部が本県 県教育委員会教育長佐藤一男氏か います。日本教育会のさらなる発 次いで、ご来賓を代表して岩手 多様な個人のために多様性を

氏と盛岡市立大宮中学校長の鈴木

盛岡市立本宮小学校長の藤原安生

続いて議事に入り、議長には、

令和5年度活動方針及び事業計 た令和4年度事業報告・決算報告、 美成氏を選出し、事務局が提案し

されました。 等が審議され、 記念講演は近藤義男氏 全ての議案が承認

してくださいました。

、講演の概要は次号で紹介します)

画・予算案、

令和5年度支部役員

とWBCで近藤健介選手がいただ

講演終了後、

東京オリンピ

ツ

いた金メダルを参加者全員に回覧

人を生かし、育てる マネジメントへの一考察」

令和5年度

と題してご講演をいただきまし 野球指導者として、親として…」 シック優勝メンバーの近藤選手の について、 の育ちを振り返る経験と出会い」 た。「ワークアズライフとは」「私 から「人を生かし、育てるマネジ 球振興に携わっている近藤義男氏 ミー代表で青少年の野球指導・野 父で、元小学校長・現KCアカデ BCワールドベースボールクラ バンクホークス近藤健介の育ち」 の育ちへの一考察」「福岡ソフト メントへの一考察…教員として、 立40周年記念講演会が行われ、 「楽しいやりがいとは」「学校職員 総会終了後、午後2時半から創 熱く語っていただきま

理

監

講演される近藤義男氏 事務局次長 事務局長 書記 調査研究部長 特別参与 任期 小田島達哉 国子 青笹 石田西川代郷

光

松岡

松村

工藤

高高佐原畑藤

金澤 和田

広報出版部長理事・組織事業部長 東北ブロック代表理事

髙橋ひさ子 /重樫 英喜

日本教育会岩手県支部役

副支部長

支部長

国和英 健伸子広樹晃次裕豊宏 高佐橋藤 澤和 田 厳久智嗣 広健一 憲 聡寿尚泰人尚利利佳淳照英

藤岡 中村 令和6年) 雅英明 宏章

令和5年 髙橋ひさ子

令和4年度第13回教育実践顕彰事業 ト橋中・小鳥谷小の論文が奨励賞

主催 戸町立小鳥谷小学校の2校が応募 全国から49編の応募があった中、 本県から盛岡市立下橋中学校と一 両校はみごと奨励賞に選ばれ の第13回教育実践顕彰事業に 和 4年度 (公社) 日本教育会 ŋ け 組 0)

生徒の育成~26年間 n

実行する』 い体験を通じて『気づき・考え・ 下橋中学校の「環境とのふ

八重樫支部長より下橋中・泉澤校長先生への伝達

り返ることができた」と語ってい にもつながるものである。始めた 佐藤久美子教諭は「環境に目を向 ました。 『初の苦労と先見の目を改めて振 た取り組みが26年間続いてお 「〜」という研究論文を執筆した 『森は海の恋人体験学習』 SDGsが叫ばれている現在 0) 取

施して、 者の松尾洋子校長は 点も大いに評価されました。 に努め今後に活かそうとしている 域とともに児童の「生きる力」を 農業体験などの学習を通して、 研究論文は、 先生に学ぶ活動を通して』という 育む取組みです。アンケートを実 「藤島のフジ」や文化財、郷土芸能、 育む生きる力」地域の宝を地域の でも、これからも「地域とともに また、小鳥谷小学校の 成果の確認と課題の把握 国指定の天然記念物 「地域らしさ 『これま 地

賞



と。 しました。 取組んでいることが認められてと を生かした教育を紹介できたこ 重樫勝支部長他3名が両校を訪問 ても嬉しい」と語っていました。 3月8日 (水) に盛岡支部の八 (Quoカード1万円分) を贈呈 そして子どもたちが頑張って 本部から送付された賞状と副

した。 最高賞に当たる「会長賞」をはじ 先進性を全国に示す結果となりま これまでも岩手県は4年連続 岩手県の教育研究の堅実性 複数の学校が毎年入賞してお

り、

め

地区会長 務局長

宮釜気——江胆北遠花紫岩盛 関関 古石仙東西刺沢和野巻波手岡 久澤中佐島中本 保田浜藤山 一 育艶敦一直 孫 亨生子士郎雅雄 羽菊 柴池 隆 ^田 育 修之慧淳生 小田島達哉 佐藤 克洋 佐藤 克洋 方質か

つえ (事務局長) 弘 敬幸 国子

令和5年度 般財団法人岩手県教育振興基金役

副理事 事 長 長 高橋 八重樫

菅原 和鈴星田木 健美俊利成也 熊和谷田 佐々木 令和6年) 純英佳勝

常務理 監 令和5年、 伊藤 茂美

(任期 令和3年~令和6年)

いわての教育実践研究~その17

環境とのふれあい体験を通じて「気づき・考え・実行する」生徒の育成 26年間の「森は海の恋人体験学習」の取組 盛岡市立下橋中学校 校長 泉 澤

した。 業」に応募した盛岡市 13回教育実践顕彰事 主催の「令和4年度第 に「奨励賞」 立小鳥谷小学校が見事 立下橋中学校と一戸町 (公社) 日本教育会 に輝きま

した。 から論文の概要をまとめて頂きま り組みについて校長の泉澤毅先牛 今回は下橋中学校の26年間に亘 「森は海の恋人体験学習」 の取

本校の環境学習

絶滅危惧種・ となった。その後、エコ委員会が 織に『エコ委員会』が発足され学 温暖化・有害化学物質・食物汚染・ 中心となり、 校全体で環境学習に取り組むこと がった。平成11年には、生徒会組 クル活動が始まり、翌年には全校 上も環境学習を継続してきている。 活動としてのエコ活動へと拡 平成7年度に学年によるリサイ 環境汚染・酸性雨・ 食糧問題など20年以

> 行っている。 生活の中で環境を思いやる教育を 活動と連動した取組となり、 RC委員会、地区生徒会などの 現在はSDGsとも関連をし、 日常

学校生活において生徒のエコに対 にシールが貼られており、日常の う願いが込められており、校内の た「エコマーク」は、「命あふれる 積極的にエコ活動が行われている。 する意識化が図られ、学校全体で 電気のスイッチや水道の蛇口付近 自然豊かな地球を守りたい」とい エコ委員会発足当時につくられ

2 SHEL 学習

持ち、 基盤とし、様々な教育活動とリン と呼んでいる。環境教育の学びを とエコ (Eco) を学ぶ (Learn) 組む生徒」「環境問題への取組を クさせながら「環境問題に関心を 間」を「SHEL学習」(下橋 を育てる探究的学習を行っている。 通して豊かな人間性を持つ生徒」 (Shimonohashi) で人間 (Human) SHEL学習の特徴は体験活動 本校では「総合的な学習の時 自ら課題意識を持って取り

来はどんな社会になっていくの 生き方を探究する場でもある。 に守っていく感性を育むととも るものとして捉え、それらを大切 的にもさらには学術的にも価値あ リキュラムの中で「これからの未 が豊富であり、3年間を通したカ て生態系のみならず精神的・物質 でいかに感じることができるか」 か」「環境問題を自分の生活の中 1学年では、 様々な体験を通して、 恵み豊かな環境が人間にとっ 「SHEL道場

エコ委員会作成のエコマーク

を受ける。 先生から森林の働きについて講義 環境学習への基本的な知識を学 小岩井農場において森林の役割や と呼ばれる森林体験学習を行う。 大学農学部森林学博士の山本信次 下刈りなど体験学習を行い、岩手 の演習林では、森林の観察、間伐・ て考えるきっかけとした岩手大学 自然や生命のつながりについ

毅



中津川での水生生物調査

めに調査を継続している。 が、その川の水をきれいに保つた が戻ってくる清らかな川である も取り組む。 での水質調査(水生生物調査)に また本校のそばを流れる中津 中津川は、毎年、 鮭 ĴΪ

視点で環境について学習する。 むNPO・NGOを訪問し様々な た本校では、 て、 2学年では東京の修学旅行にお 班ごとに環境保全に取り組 砂漠化の進むアフリ

ま

ており、 果と今後の活動について考える機 実施し、現地でのNGOの活動報 るNGO「緑のサヘル」を支援し 辺」に戻すための活動を行ってい 会としている。 告を聞いて、自分たちの活動の成 サヘル地方の土地を「緑の岸 修学旅行の中で講演会を

う活動から始まり、東日本大震災 成8年から26年間継続して取り組 が発生した年も活動は途切れるこ 学習は、気仙沼市唐桑町のNPO にした体験学習である。この体験 んでいる海と山の環境学習を中心 は海の恋人体験学習」である。 である3年生の体験学習は、 森は海の恋人」の畠山重篤さん 中心となっている。 3年間のSHEL学習のまとめ 「海と山の絆をむすぶ」とい 本校の生徒の環境学習 「森 平

森は海の恋人体験学習

海との関係。 体験学習が平成8年に実施され さんの活動に共感し、第1回目の の関係を中心に活動している畠山 して環境を学ぶ中で、 を推進してきた。実際に体験を通 育活動全体を通して「環境学習」 下橋中学校では平成8年から教 太古の昔から続いてきた森と 豊かな川が海の生き 「森と海」

> まった。 私たち人間が水を汚さないために で様々なことを感じ取る学習が始 行しなくてはいけない。体験学習 できることを一人ひとりが考え実 物を育む。その大きな循環の中で

う。 は、 類のゴミと量に驚きを感じなが で感じ取りながら体験学習を行 る。そこで生徒は、 殖場は静かできれいな内海にあ 学習を行う。 ら、ゴミ問題についても感じ取る。 モンなどの話を聞き、 つながり、海の生き物、 1日目は畠山さんから海と森の 本校の「森は海の恋人体験学習 1泊2日の体験学習である。 砂浜ではゴミ拾いを行い多種 畠山さんの牡蠣の養 海の匂いを肌 海での体験 環境ホル



「森は海の恋人」体験学習

牡蠣の成長の話を聞きながら実際 船での牡蠣の養殖棚の見学では、 ・養殖の牡蠣を手に、 海の神秘を

験。 もあり、実際に手で触り感触を体 さを感じる生徒も多く見られる。 を観察する。初めて見る海の生物 動は、気仙沼湾で生きている生物 る生徒も多くいる。また陸での活 2日目は一関市の室根山での植 東日本大震災からの復興の様子 働く人々の心の強さを感じ取 今までに無い体験から命の尊

をきれいにしていくことを実感する。 受け取り植える。自分たちが植え 感じることになる。各々が苗木を をみると長い年月の重みを生徒は り成長している。その成長した木 樹体験をする。20年以上前の先輩 た木も成長し続け、 たちが植えた樹木が大きな林とな 気仙沼湾の水

SHEL学習の成果

4

とめると、次のように挙げられる。 に沿って、本校の学習の成果をま)環境に対する豊かな感受性や探 究心の育成 環境教育指導資料【中学校編】」

○環境に働き掛ける実践力の育成)環境に関する思考力や判断力の の3点にまとまられ、そして生



〔20年前の植樹風景〕

ように考えを持っていく。 0) 徒はその成果を、 中で、 実際の行動に移せられる 家庭や地域社会

5 今後の課題

導を社会変化に応じてさらに工夫 り深く考えさせるためには指導者 自分の問題であると考えられる指 ていることに気づかせたい。そし 中学生が危惧していた環境問題 生活が便利になったが、26年前 会の変化の中、SNS等が普及し 側の工夫が必要である。急速な社 いる地域に目を向け、生き方をよ していきたい。 環境学習を通して自分の住んで 生徒自身に環境問題は未来の さらに深刻な問題となっ

岩 手

花巻 地 区会

りとなる花巻地区会の総会・研修 シェール花巻」において、 様が出席しました。 会員や小・中・高の会員84名の皆 は、ご来賓の皆様をはじめ、 七 懇親会を開催しました。 月一 日 (土)「ホテルグラン **4**年ぶ 終身 当日

援を行ったり、 でタンザニアやラオス等の開発支 きました。中村氏は国際協力機構 る人材の育成」と題してお話を頂 お招きし「岩手で、世界で活躍す 教育委員の中村祐美子氏を講師に トとして世界各地で活動をしたり 研修会では、 花卷市教育委員会 開発コンサルタン



講演する中村祐美子さん

常識が違うこと等を教えていただ きました。 することが大切。 は て、 しています。 いこと。日本人と現地の方の関係 縦の関係ではなく、 物事は計画どおりには進まな 外国 日本と世界では 「で仕事をしてみ 横の関係と

献にかける熱い思いが伝わってき ちたくても持てない人達が世界中 地域である。」「夢は大切だが、 には国境はない、 ました。 ありましたが、 をいただきました。 感謝して挑戦してほしい」との話 には沢山いる。 ふれあうのは本当に楽しい、 伝えたいこととして、 また、岩手・花巻の子供たちに とても有意義な研修会となり (事務局長 夢を持てることに 講師先生の国際貢 大切な人が住む 短い時間では 横手 「世界の人と 勝美) 世界 持

ドセミナー 援教育」について いじめ重大事態」と「特別支 詳細はホー 日本教育会オンデマン 8/1火~8/31休 ページ参照 参加費無料

〇岩手県高等学校長協会 盛岡地区

岩手地区 青枧禎久・ (1名) 千葉賢 藤原有紀 菊池郁総・ 近藤健

花巻地区 紫波地区 (3名) (1名) 松田隆宏

遠野地区 横坂貴・小松了・大木由 (1 名) 伊藤正 則里

気仙地区

(5名)

一関東地区(2名)

及川総司・曽根達也

一関西東地区(3名)

及川淳・鎌田和茂・鈴木里

香

下権谷久和・高野敦志・菅原裕子

胆沢地区

(4 名)

田代徹

千葉章浩

·坂牛祐司·星野

7英樹

(3名)

北上和賀地区 (2名)

佐藤文子・三森健 胆沢地区 千葉勝幸・助川剛栄 (3名) 小野寺訓

↓江刺地区 (1名)

一関東地区 (2名) 佐藤紀文

▼気仙地区(1~橋本ゆかり・4 (1名)

釜石地区 菅野幸貴 1 名

伊東理俊 今野晋 (2名)

岩渕雅明 1名 藤原淳

水野扶佐史 久慈地区 1 名

伊藤俊也·千葉美春 (**2名**)

▼二戸地区 亀山丈・髙橋国博・髙橋幸美 (3名)

藤田早苗・∴ 岩手地区 宮沢一裕 (5名) (1) 佐々木淳 村山純子・ 横坂さくら 尾﨑芳彦

名

外川直美

〇岩手県高等学校副校長協議会

手県教育振興基金

(敬称略)

礒部隆宏・吉田新 宮古地区 (3名) 一·中館崇裕

釜石地区

(3名)

三上浩永・菅原雅美

田村崇司・馬場隆太・

秋田美紀男

伊藤明彦 齊藤孝明 ·鈴木明宏

下北地区 皆川和範 (1名)

二戸地区 久慈地区 山中基雅 (35名) (35名) (2名) 奥谷正 (2名) 彦

今回 (公財) 岩手

副校長協議会の令和5年度新任副をいただきました岩手県高等学校県教育振興基金へ5千円のご寄附 校長様の正会員をご紹介させて副校長協議会の令和5年度新任 学校長協会の令和5年度新任校長 寄附をいただきました岩手県高等育英奨学会への助成金1万円のご ただきました。 同じく1万円のご寄付と岩手

りましたことに衷心より感謝を ただき、多額のご支援・ご協力を賜 温かいお志を全員からお寄せ 11 会長

られます。ま

舎に戻ってこ

岩手県小学校長会

理事

佐藤

(7)

公益社団 令和5年度 [法人日本教育会 第49回総会及び講演会

報

催されました。 都世田谷区日本大学文理学部で開 5年度第49回総会は6月24日 して高橋ひさ子副支部長が、 イン合わせて71名が出席して東京 公益社 後1時15分から会場及びオンラ |団法人日本教育会の令和 支部からは役員と (一関市立摺沢幼 代議 土

行わ 議案が満場一致で承認されました。 度事業・ 表等の報 (理事) 事長の 北 園 れ、 原保雄会長に代わり笹尾幸夫 園 長 選任等が審議され全ての 会務報告並びに貸借対照 続いて議事では令和4年 挨拶の後、 告、 が 出席しました。 令和5.6年度役員 功労者表彰が 最

お はようござ

手を繋いで校 りの一年生と え、入学したば 明るい笑顔で迎 毎朝 子どもたち <u>V</u> 11

スポット

その180

(盛岡市立仁王小学校 れており、教室から触れ合いを大切にさ級の子どもたちとの には特別支援学た、休み時間 歓声が響いてきます。 はいつも楽しそうな 第四十代校长校長先生

> 年度創立百五十周年を迎えるに牽引してくださっています。今験と深い教育観により私たちを長として着任され、豊富なご経 どもたちに、一学 る金 田 優しく感謝する心(玉らめずにやり抜く強いらめずにやり抜く強いいの書を示され、「あき情」の書を示され、「あき 情)」の大切さを教え っに、本校の卒業生であー学期の始業式では子

> > 受賞者表彰式が行われました。

総会での役員選任の件を受け、

令和4年度第13回教育実践顕

彰

差しで子どもたちを迎え淳校長先生は、今朝も温かな日々を送られながらも、 する様々な要職を担われ、 で子どもたちを迎えて 小学校長会長をはじめと やいます。 ったちを迎えてい、今朝も温かな眼れながらも、佐藤 齊藤智彦 多忙

てくださいました。

れた今回 きました。

というテー

マでご講演

6月16日に閣議決定さ 概要について読み解く

挨拶する笹尾理事長

臨時理事会が開催され、 ました。 大学学長の鷲山泰彦氏が選任され 長を務められた北原保雄氏に替わ 第9代会長として元東京学芸 14年間会

崎活志氏に 省初等中等教育局主任視学官の宮 員合同研修会が行われ、 教育振興基本計画答申を読み 続いて午後3時から理事・ 当面の文部科学行政につい 「中央教育審議会・ 文部科学 代議 次



宮崎活志文部科学省初等中等教育局 主任視学官の講演

る 学校がウェルビーイングを確保す ることが前提と話されたこと ングを高めるためにはまず教師 崎氏が子どもたちのウェルビーイ 特に興味深かったのは次期コンセ 理解を深める機会となりました。 測が困難な時代において進むべき 視点を示していただき、将来の 注 のことも含めて好機な講演でした。 イングの向上」にふれた時に、 プトの中にある「(注) ウェルビー 方向を指し示す教育の羅針盤とな 最近よく聞く言葉であり、 教育振興基本計画」 につい そ 宮 7 予 P

議された令和5年度事業計画

正味財産増減予算についての

報告 及び

がありました。

総会終了後には

また令和

4年度第

4 回

理事会で決

身体的・精神的 態であること。 幸福を含む概念 ・社会的によい 状

ふるさと生出 の地 域 で学 ぶ

盛岡市立生出小学校(校長 天沼 正明



手山の伏流水が湧出する 北西端、 生出湧口があり、 がっています。 生出川となり東へ流れ、 には、毎分45トンもの岩 の通称「生出地区 岩手山 学区西端 [の東裾野 湧水は 」に広

を仰ぎ見る田園地帯に本校は建っ ています。 畑を潤し北上川へと流れます。 から15㎞ほど下流の、岩手山

動を二つ紹介します。 次に、生出小ならではの教育活

なっています。 る地域学習は、 合いながら「ふるさと生出」を知 生出の地域、人や自然と関わり 地域学習と岩大生のサポー 本校教育の特色と

つながる産業、 や生活、豊かな自然は、生きた教 の開拓の歴史、 学区には、戦後入植された方々 荒れ地であった火山灰土 育まれてきた文化 先人が築き今に

本校学区は、 盛岡市

師を目指す教育学部4年生のサ 立てとして、児童一人ひとりに教 導を仰ぎ、平成14年度より「意欲 教育学部教授の田代高章先生に指 草創期の平成12年度から岩手大学 ポートをつけていただいています。 的に探究する子どもの育成」 フィールドワークなどでの児童



児童の思いに寄り添う学生サポート

の発見の驚きや喜びを受け止め、 材となっています。 特に、総合的な学習の時間では、 一の手

2 先人」をテーマに調べています。 させる大きな力となっています。 年間20回程度受けながら「地域の 生15名が、学生13名のサポートを 上がる合同運動会を児童に体験さ 合同大運動会を開催しました。 当日は、 令和5年度は、4年ぶりに地区 今年度も、 生出地区合同大運動会 生出地区みんなで盛り 複式学級の5・6年

を盛り上げました。 力を見せつけるなど、 チームも参加し、断トツ1位と走 地区対抗リレーには、岩大学生 合同運動会

学学生のサポートを受けながら、 心の中には、ふるさと生出のすばら 生出の地域で学ぶ児童一人ひとりの しさと尊さが、はっきりと刻まれて 7年3月をもって閉校します。 くものと信じてやみません。 地域の方々の熱い思いと、岩手大 本校は、児童数減少に伴い令和

学生が側にいることは、

児童の

更

共感し価値づけ、

支援してくれる

なる意欲を引き出し、探究を推進

でのパソコン使 少により、 外出の自粛、 人との飲食の減 コ 口 ナ禍 自宅 で、 友

ジャックの接触が悪く、接点復 使って導通を確かめた。 のパソコンに電気が入らない。 と同様に使えることが分かっ 良いことが分かった。そのアプ 行すると時間短縮することがで 用が増えた▼しかし、 がでた。これまた、 を見つけ、 また、息子が使っていたアンプ いよいよ寿命か。テスター なった▼数ヶ月後、 SSD による起動時間は30秒に 料アプリを使っても有料のもの リは有料であるが、1代前の無 き、デスクのクローンを作れば 記憶装置のHDD からSSD に移 の起動に3分位時間がかかる。 活剤で、 外出自粛による恩恵である。 クローン作りに成功し、 復活。大成功である▼ 接続すると良質の音 今度は、こ パソコン を

校の思いが重なり、天候にも恵ま

大成功に終わりました。

せたいという、地域、

保護者、

学

筆をお願いしました。 今年度から専門部の方々に執 会長 吉川

(岩手県公立学校退職校長会